



 Data	2025-31
監督・撮影：ショーン・ブライス・ウィリアムズ	
出演：タリア・ライダー／アール・ケイヴ／サイモン・レックス／アヨ・エデビリ／ジェレミー・O・ハリス／ジェイコブ・エロルディ／リッシュ・シャー	

👁️👁️ みどころ

小学生の時には『トム・ソーヤの冒険』や『ロビンソン・クルーソー』等の冒険譚をハラハラドキドキしながら読んだが、『不思議の国のアリス』は少女モノだったから未読！しかし、トランプ時代のアメリカにおける「不思議の国のアリス」、ならぬ「不思議の国のリリアン」とは？

幼い少女アリスが白うさぎを追いかけて迷い込んだ“不思議の国”には、しゃべる動物や動くトランプ等がいたが、女子高生リリアンが鏡を通り抜けて迷い込んだ異世界“スイート・イースト”では、どんな予測不可能な玉手箱的ハチャメチャな展開が・・・？

監督名も主演女優名も知らないし、次々と登場してくるファジーで奇妙な人々も一度見たらそれっきりだが、たまにはトランプ時代のロマンティックな(?) 無政府状態の体験も悪くないかも・・・？

— * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — *

■□■ 奇想天外!トランプ時代の「不思議の国のアリス」とは? ■□■

あなたは、イギリスの数学者チャールズ・ラトウィッジ・ドドソンがルイス・キャロルのペンネームで書いた『不思議の国のアリス』(65年)と、その続編にあたる『鏡の国のアリス』(71年)を知ってる？私は世界の偉人伝や世界文学全集には詳しいが、世界の児童文学はあまり知らない。しかし、『不思議の国のアリス』は、幼い少女アリスが白うさぎを追いかけて不思議の国に迷い込み、しゃべる動物や動くトランプなどさまざまなキャラクターたちと出会いながらその世界を冒険する様を描いた児童小説であり、『鏡の国のアリス』は、不思議の国を冒険したアリスが鏡を通り抜けて異世界(鏡の国)に迷い込み、前作と同様その世界を冒険する様を描いたものだ、ということは知っている。

他方、本作のチラシには、「奇想天外！トランプ時代の不思議の国のアリス!？」の文字

が躍っているうえ、「鬼才っぷりを放ちまくる！NY インディペンデント映画界を牽引してきた撮影監督、衝撃の監督デビュー！」の文句もある。また、本作の主人公は、美人女優、タリア・ライダー演じる 17 歳の高校生リリアンだが、残念ながら、私はショーン・プライス・ウィリアムズ監督もタリア・ライダーも本作で初めて聞く名前だ。しかし、チラシの誦い文句を総合すると、本作は現代アメリカを舞台とした「不思議の国のリリアン」らしい。したがって、チラシに書かれている「あてもなく漂う、からっぽな少女。次々に現れるファンニーで奇妙な人々。アメリカの旅の終わりは、天国？それとも地獄？」は、まさに本作のストーリー！？

■□■ザラザラ感に注目！全編 16mm フィルムで撮影！■□■

本作は、「鬼才っぷりを放ちまくる！」と称されている、ニューヨークのインディペンデント映画界を牽引してきた撮影監督、ショーン・プライス・ウィリアムズの監督デビュー作とのことだが、それを私は全然知らなかった。しかし本作を見ていると、スクリーンのザラザラ感が目立つ上、手持ちのビデオカメラで撮影したかのような動感（＝不安定感）も目立つ。これはビデオカメラではなく、全編 16mm フィルムで撮影したためだが、なるほど、なるほど・・・そのうえ、冒頭のストーリーが、ワシントン D.C. ではしやぎ回る同級生たちとそれをひとり冷めた目で眺めているリリアンから始まるので、そのスピード感も半端ない。それに続くのが、皆で抜け出して行ったカラオケバーでの盛り上がり風景だが、突如そこに陰謀論に取り憑かれた若い男による銃乱射事件に巻き込まれてしまうと、スクリーン上はハチャメチャな混乱状態に。

76 歳になった私には、今やこんなワケのわからない映画（？）と目が疲れるハチャメチャ撮影映画（？）はノーサンキュー。一瞬そう思ったが、ド派手なパンクファッションのケイレブ（アール・ケイヴ）に導かれて店のトイレに逃げ込むと、大きな鏡の裏に秘密の扉があったから、なるほど、なるほど・・・ここから巨大な地下の通路につながっていたから、ここから「不思議の国のアリス」ならぬ「不思議の国のリリアン」が始まることに。

■□■まさに予測不可能！玉手箱的ハチャメチャ展開に驚愕！■□■

「トランプ 2.0」が始まるや、MAGA（＝Make America Great Again）のスローガンの下に、矢継ぎ早にトランプ改革（＝バイデン政策の否定）が始まった。直近では、教育省の廃止が発表されたが、その功罪は？イーロン・マスク氏をトップとする政府効率化省の権限と勢いはいつまで続くの？

そんな心配をしている中、本作では冒頭、サウスカロライナの高校で「アメリカ合衆国の国旗に、私は忠誠を誓います」と宣言する風景が描かれるからビックリ！日本では国歌「君が代」が演奏され歌われるのは、オリンピックでメダル授与の時と、大相撲の千秋楽の時だけで、春夏の高校野球でも演奏され歌われることはない。しかしアメリカでは・・・？これはトランプ政権下だけ？それともバイデン政権下でも同じ？

それはともかく、本作が「アメリカ合衆国の国旗に、私は忠誠を誓います」のシーンから始まることに注目！そして、トイレの大きな鏡の裏にあった秘密の扉はどこに通じているの？そこから始まる「不思議の国のリリアン」の物語は、

- ① 謎のアーティスト活動集団との交流（？）
- ② そこで知り合いになった紳士的な大学教授のローレンス（サイモン・レックス）との交流（？）
- ③ 映画監督だと名乗るアフロヘアーの2人組の黒人モーリー（アヨ・エデビリ）とマッシュ（ジェレミー・O・ハリス）との交流（？）

と続いていくが、その展開はまさに予測不能！その玉手箱的ハチャメチャ展開にビックリすることは間違いなし！

■□■リリアンの公開捜査の中、なおハチャメチャ展開が！■□■

「不思議の国のアリス」ならぬ「不思議の国のリリアン」は今、モーリーとマッシュ両監督の下でハリウッド女優としてのセレブ生活を満喫していたからすごい。しかし、修学旅行でワシントンD.C.に行ったはずのリリアンが突然失踪してしまったことを心配した家族は、ついに公開捜査に踏み切ったことがTV放送されたから、コトは重大だ。

そんな状況をリリアンが理解すれば、リリアンの不思議の国での冒険もジ・エンドに！そう思うのは当然だが、銃撃戦の撮影現場でホンモノの銃撃戦に巻き込まれてしまったリリアンが、撮影アシスタントのモハド（リッシュ・シャー）に助けられたところから、さらに新たな奇想天外なトンデモ物語が展開していくので、さらにビックリ。「不思議の国のリリアン」の玉手箱的ハチャメチャ展開は一体いつまで続いていくの？

■□■教会で目覚めたリリアンは？同級生たちは？！■□■

私は小学生の時に『トム・ソーヤの冒険』『八十日間世界一周』『ロビンソン・クルーソー』等々の冒険譚をハラハラドキドキしながら読んだが、残念ながら「少女モノ」たる『不思議の国のアリス』は読んだことがなかった。したがって、それを“トランプ時代の現代アメリカ”に置き換えた「不思議の国のリリアン」を観ると、女の子ながらのさまざまな冒険譚をたっぷり楽しむことができた。しかし、冒険にもいつか終わりが来るものだ。

しかして、雪が降る中、山道を映画衣装のドレスで歩き続ける中、体力が限界となり、そのまま気を失ってしまったリリアンは、牧師たちに助けられて、今、教会の中で目覚めることに。このようにしてやっと地元に戻ってきたリリアンの元に、一緒に修学旅行に行った友人たちが集まってきたのは当然だ。しかして、本作は、そこでの、「本当に誘惑じゃないの？AVを撮影してたって噂があったよ」との質問に対して、リリアンが「好き勝手にただけ」と答えるシークエンスになるので、めでたし、めでたし。

2025（令和7）年3月25日記